



エージェントのインストール  
コンポーネント

# 目次

目次 .....	2
<b>I. KPAX エージェントコンポーネント.....</b>	<b>3</b>
<b>A. PC ドライブにインストールされたエージェント.....</b>	<b>4</b>
<b>B. ポータブルデバイス (USB/External Drive) にインストールされたエージェント .....</b>	<b>6</b>

## I. KPAX エージェントコンポーネント

エージェントソフトウェアのインストール時、管理者はインストール先を選択できます。これにより、管理者はエージェントソフトウェアを PC にも USB ドライブにもインストール可能です。KPAX エージェントをインストールすると、以下のコンポーネントがドライブおよびコンピュータに追加されます。

### a. エージェントインストールフォルダ

KPAX エージェントの主なインストール場所です。このフォルダーにはエージェントのアプリケーション、ログファイル、設定ファイル、収集したプリントデバイス情報（暗号化済み）、およびエージェントを実行するために必要なファイルが含まれます。なお、収集されたプリントデバイス情報をローカルで閲覧する方法はありません。このインストールフォルダーは、エージェントインストール時に管理者が変更可能です。

### b. .Net Framework

エージェントアプリケーションを構築・実行するためのソフトウェア開発フレームワークです。

### c. .Net 8

エージェント Windows デスクトップアプリケーションを実行するために必要な .Net Framework のコンポーネントです。

### d. KPAX Windows サービス

オペレーティングシステムのバックグラウンドで動作するプログラムです。「KPAX サービス」は、アプリケーションが開いていなくても、またユーザーが PC にログインしていなくても、常にプリントデバイス情報を収集できるようにします。

## A. PC ドライブにインストールされたエージェント

これはエージェントの推奨インストール場所です。PC ドライブへのエージェントソフトウェアのインストール方法は、[[エージェントのインストール手順書](#)] を参照してください。

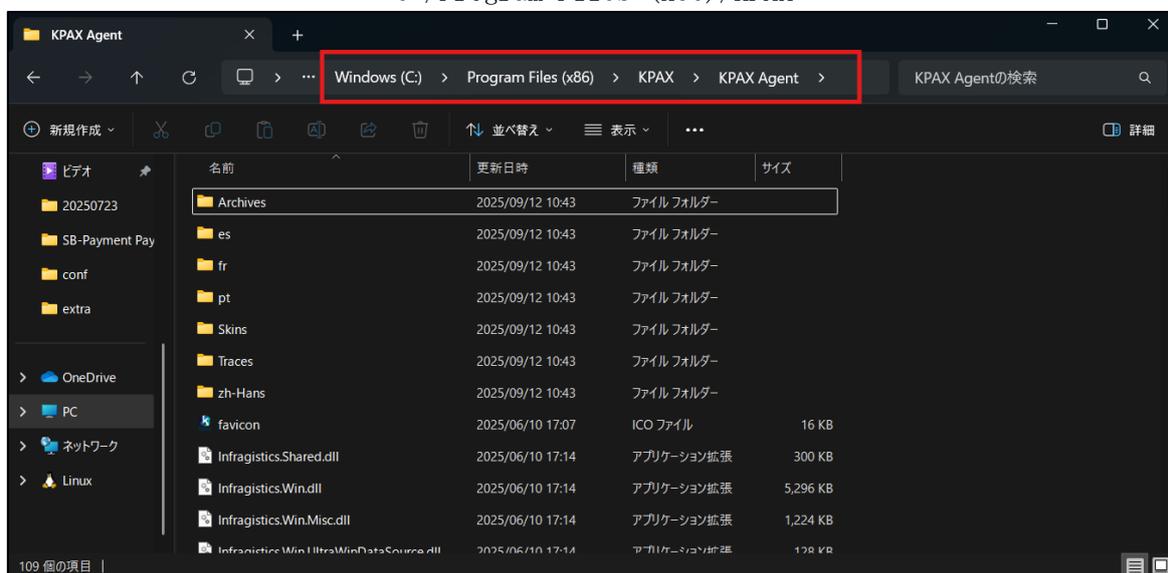
特に常時、もしくは長時間稼働しているサーバー PC へのインストールが推奨されます。

PC が常時稼働している場合、エージェントは遅延なくデバイス情報を収集できるため便利です。PC または Windows サーバーにエージェントをインストールするのは、以下のようなケースにも有効です：

- ・プリントデバイスの状態を常に監視し、エラー発生時に早期通知を受けたい場合
- ・プリントデバイスの日次カウンターを分析したい場合
- ・トナーレベル、ドラムの状態、その他の消耗品を監視したい場合

デフォルトでは、インストール先を変更しない場合、エージェントは次のディレクトリにインストールされます：

C:/Program Files (x86)/KPAX



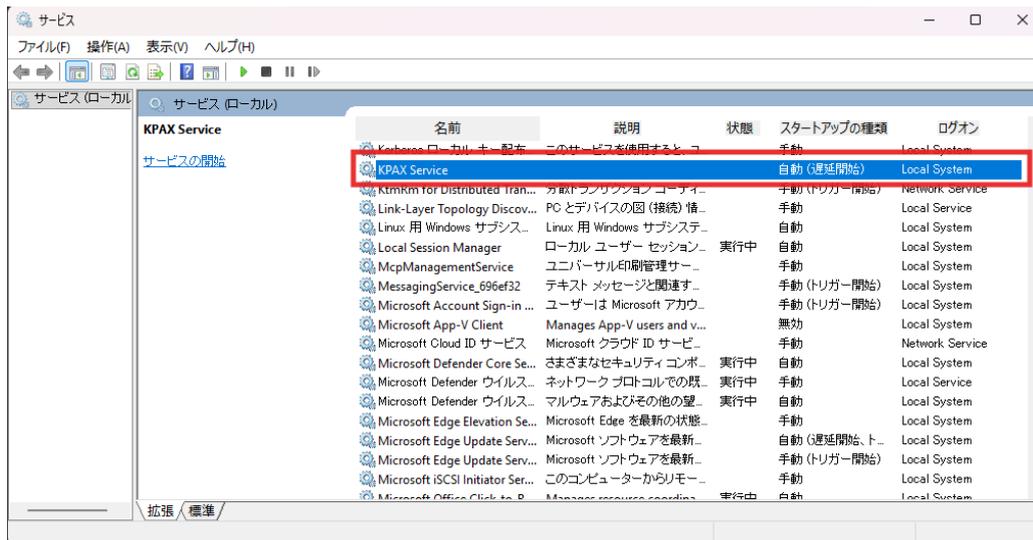
デフォルトのエージェントインストール場所

インストール時に管理者が別の場所を選択することも可能です。インストール先フォルダーには、エージェントのログ、設定ファイル、暗号化された収集データ、そしてエージェントソフトを動作させるためのファイルが含まれます。

(収集された情報はローカルで確認することはできません。)

PC ドライブにエージェントソフトをインストールすると、自動的に以下も導入されます：

- ・Net Framework 4.6.2
- ・Net 8
- ・Windows® サービス



KPAX の Windows®サービス

PC またはサーバーにエージェントをインストールする利点：

- インストールが簡単（インストーラーが必要要件を自動的にインストール）
- PC が起動していれば自動的に情報を収集（Windows® サービスが PC 起動時に自動開始）
- エージェントの設定は KPAX Web サーバーから行える

## B. ポータブルデバイス (USB/External Drive) にインストールされたエージェント

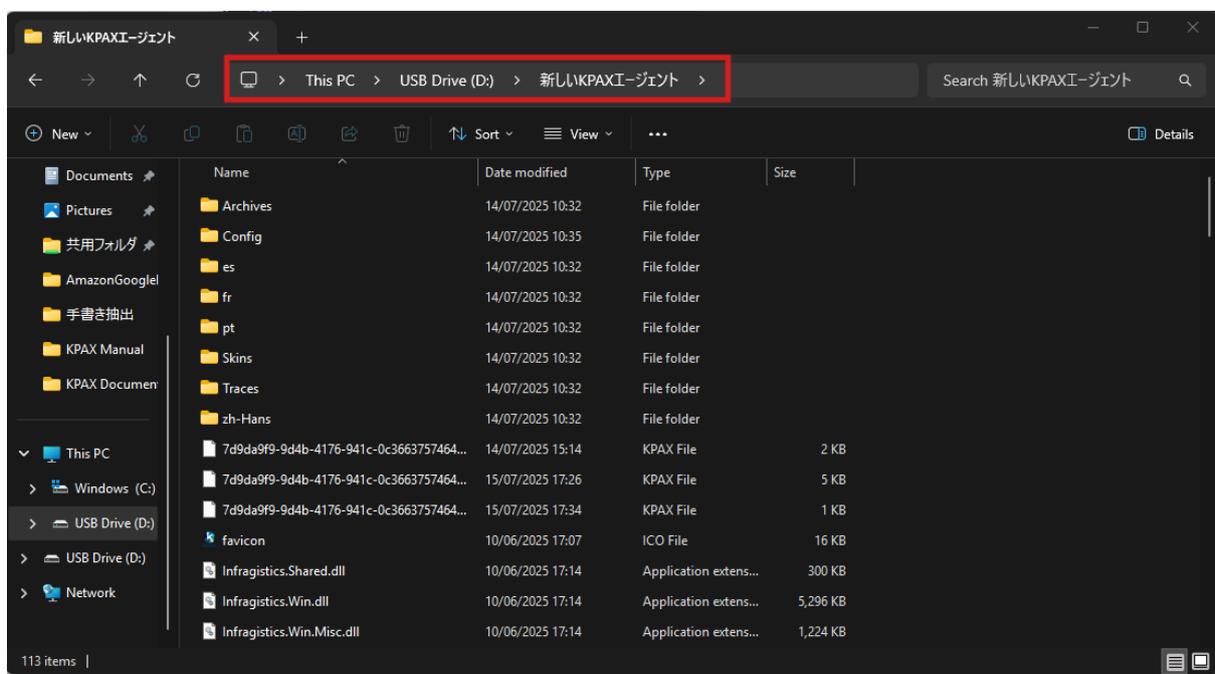
KPAX エージェントソフトウェアは USB や外付けドライブといったポータブルディスクにもインストール可能です。インストール方法は [[USB エージェントのインストール手順書](#)] を参照してください。

ポータブルドライブにエージェントをインストールする利点：

- VPN を使わず、他のネットワークに接続された PC を利用してそのネットワーク上のデバイス情報を収集できる
- 同じ登録済みエージェントを、再インストール不要で別の PC から利用できる  
インストール時にポータブルドライブを選択すると、指定先にエージェントがインストールされます。

例：

D:/新しい KPAX エージェント/



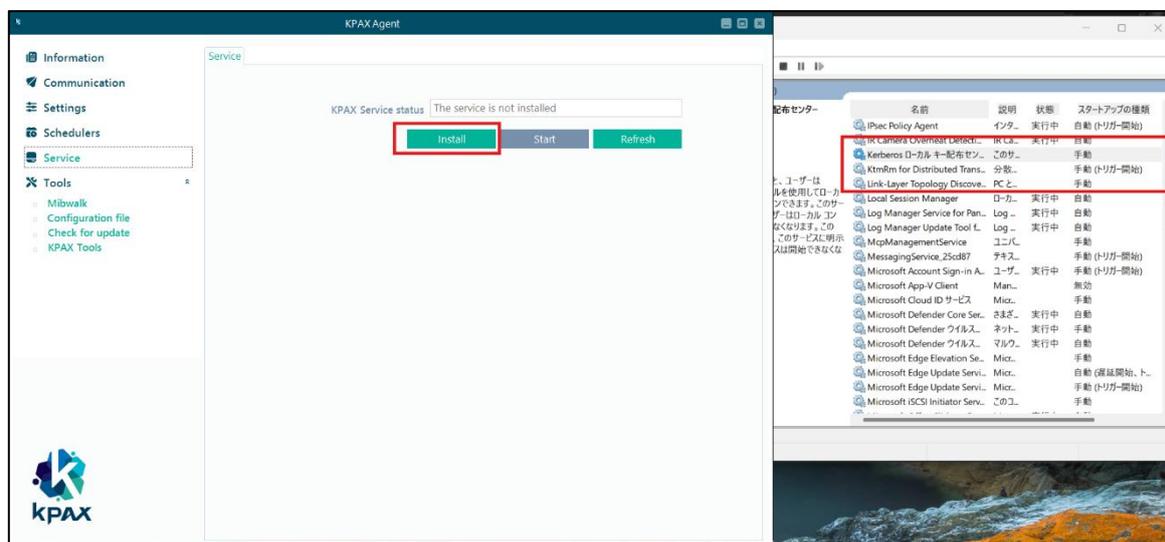
USB ドライブのエージェントインストール場所

この場合、ポータブルドライブには「エージェント インストールフォルダー」のみ配置されます。フォルダーには、アプリケーション、ログ、設定ファイル、暗号化された収集データ、必要ファイルが含まれます。（ローカルで収集データを確認する方法はありません。）

ただし、エージェント実行に必要な以下のコンポーネントは、インストール作業を行った PC にのみ導入されます：

- .Net Framework
- .Net 8
- Windows® サービス

そのため、ポータブルエージェントを別の PC で利用する場合は、事前にこれらがインストール済みである必要があります。インストール手順は [\[USB エージェントのインストール手順書\]](#) を参照してください。



エージェント アプリは開けるが、Windows サービスがインストールされていない

管理者がポータブルエージェントを起動するだけで「KPAX Windows® サービス」をインストール・開始しなかった場合、プリントデバイス情報は収集されません。また、エージェントが入ったポータブルデバイスを取り外し、サービスをアンインストールしないままにしても、デバイス情報は収集されません。